

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-502025(P2004-502025A)

【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-003

【出願番号】特願2002-506748(P2002-506748)

【国際特許分類】

**C 0 8 B 37/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 B 37/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月30日(2005.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

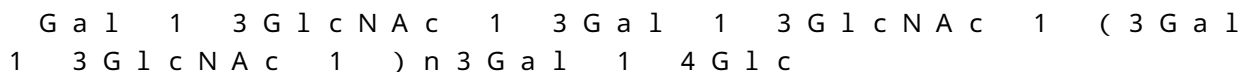
【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 単離された化合物であって、該化合物は、以下の式：

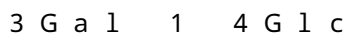
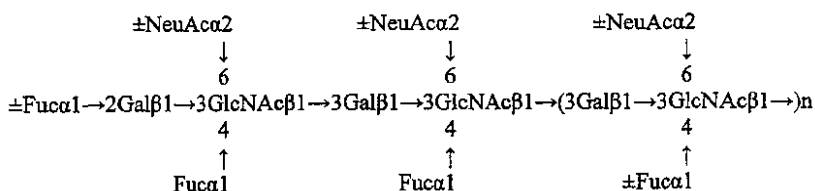


を有し、ここで、 $n$ は0または1以上の整数であり、そして少なくとも2つのフコシル残基が存在し、Galは、ガラクトースを表し、GlcNAcは、N - アセチルグルコサミンを表し、そしてGlcは、グルコースを表し、そしてここで、該少なくとも2つのフコシル残基は、1 → 4 連結を介して該GlcNAc残基に連結され、かつ/または 1 → 2 連結を介して該末端Gal残基に連結され、そして1以上のN - アセチルノイラミン酸(シアル酸)シアリル残基をさらに含み、該N - アセチルノイラミン酸(シアル酸)シアリル残基は、2 → 3 連結を介して末端Gal残基に連結され、かつ/または 2 → 6 連結を介して1つ以上の末端近傍GlcNAc残基に連結される、単離された化合物。

【請求項2】 少なくとも2つのシアリル残基が存在する、請求項1に記載の単離された化合物。

【請求項3】 以下の式：

【化1】

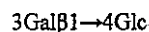
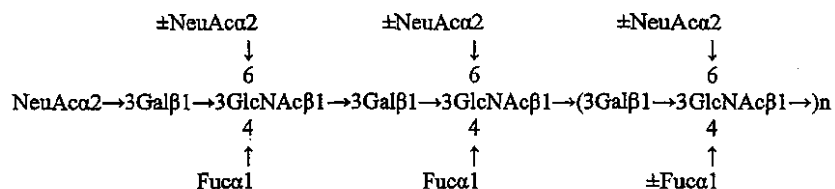


を有する、請求項1に記載の単離された化合物であって、

ここでFucは、フコースを表し、そしてNeuAcは、N - アセチルノイラミン酸を表す、単離された化合物。

【請求項4】 以下の式：

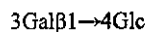
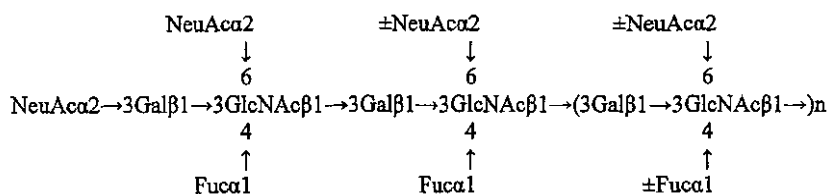
【化2】



を有する、請求項 1 に記載の単離された化合物であって、  
ここで F u c は、フコースを表し、そして N e u A c は、N - アセチルノイラミン酸を表す、単離された化合物。

【請求項 5】 以下の式：

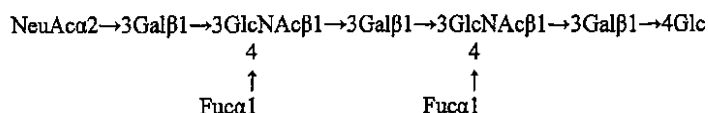
【化 3】



を有する、請求項 1 に記載の単離された化合物であって、  
ここで F u c は、フコースを表し、そして N e u A c は、N - アセチルノイラミン酸を表す、単離された化合物。

【請求項 6】 以下の式：

【化 6】



を有する単離された化合物であって、  
ここで N e u A c が、N - アセチルノイラミン酸を表し、そして F u c がフコースを表す、単離された化合物。